

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		屋良さとみ	所 属	医学部医学教育企画室	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.65	①医学教育企画室の専任教員として、学部学生の”医学教育”に関する様々な案件の総とりまとめ的な役割を担う。(CBT, OSCE等含む。) ②学部学生がより良く有意義な学生生活を送れ、また卒業より良い勤務状況を得られるように対処していく。 ③学生からの積極的な意見の聴取。相談対応。 ④呼吸器内科医として学部学生の系統講義の一部を担当する。 ⑤M2学生前期の「医学外国語講義」を担当する。 ⑥M4学生11人の”指導教員”として6年間生活等の指導・教育にあたる。 ⑦学部学生の”在学中および卒業後の進路”等についての指導・相談を行う。		0.66	毎年、新しい懸案事項が新出してくるも、左記の目標はほぼ達成できたものと思われる。	
研究	0.05	・”医学教育”に関する研究を施行していく。 ・”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究を施行していく。		0.04	・”医学教育”に関する研究をまとめるためのデータを蓄積している。 ・呼吸器内科の診療に関わることで、”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究に参与した。	
社会 貢献	0.05	・より良い医療人を育成・輩出することで、社会貢献していく。 ・内科、呼吸器内科医として、多くの患者さんの診療を行うことで、社会貢献とする。		0.06	3年前からの総合試験の導入によって、結果的に琉球大学医学科の「医師国家試験合格率が上昇」し、また医学科6年間のカリキュラムの改良もあり、多くの良い医師を輩出でき、社会貢献につながっている。	
管理 運営	0.05	・医学教育企画室自体を管理運営していく。 ・国(文科省、厚労省等)からの方針を実現していけるよう、学務・教務係の方々と協力して対処していく。 ・”医学教育”に関わる多部署とも連携し、FDその他の企画を立案・実施していく。		0.04	不十分な点もあるが、かなり達成はできたと思われる。	
診療	0.20	・内科医・呼吸器内科医(特に専門は”びまん性肺疾患”)として、患者さんの外来・入院診療に携わっていく。		0.20	目標通り、十分遂行出来たと思われる。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		名嘉地 めぐみ	所 属		医学部 医学教育企画室	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	①国際基準に対応した医学教育カリキュラム改革のために学生・教職員向けのFDを実施する。②見学型の臨床実習から診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)への転換・実質化を図るために学内及び学外病院の臨床実習担当者と定期的に連絡会を実施する。③臨床実習に関して学生や教員から意見の聴取及びアンケート調査を行う。④臨床実習中の学生及び留年した学生の進路相談や学業サポートを行う。⑤学外病院の臨床実習を支援するために、定期的に訪問し、学生指導を行う。⑥医学科1年次対象に将来の進路選択に向けてキャリア教育の講義を本格的に実施する。			0.50	①医学教育改革のためのシンポジウムを企画し実施した。②臨床実習連絡会(学内・学外)を実施し、担当教員及び指導医の意見を聴取した。学内の臨床実習コアメンバー会議を立ち上げた。③学生に臨床実習のアンケートを実施した。次年度の実習に反映させる予定である。④医学科5年次、6年次の総合試験不合格者及び留年者の学習状況の聞き取りと学習計画の指導を行った。⑤臨床実習支援のため県立中部病院へ巡回指導を行い、指導医の負担軽減に寄与した。⑥キャリア教育の授業を企画し、学外講師を招聘した。		
研究	0.20	①科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究で「潜在性鉄欠乏が血管内皮に及ぼす影響について」というテーマで外部資金を獲得している。研究を遂行し、成果を学会等で発表する。②日本医学教育学会で臨床実習に関する琉球大学の取組を発表する。			0.10	①目標の50症例を集めることができた。今後、データ解析を行い、研究成果は次年度、学会等にて発表する予定である。②本学部の臨床実習の取組について日本医学教育学会で、研修医がポスター発表を行い、その指導を行った。		
社会 貢献	0.10	①男女共同参画の取組として、沖縄県内の女性医師等就労支援事業の委員会へ参画する。②産業医として、沖縄県内における労働者の健康管理を支援する。			0.10	①学外の男女共同参画の委員会(勤務環境整備に関する病院長等との懇談会)には参加できなかったが、学内の男女共同参画に関する授業(キャリア教育)を実施した。②産業医として、学外団体の安全衛生委員会に参加した。休職中の職員と面談し、復帰支援を行った。		
管理 運営	0.20	琉球大学医学部が国際基準に対応した分野別認証評価を受けるために、医学教育企画室会議及びカリキュラム委員会に参加したり、医学科教務委員会に陪席することで、臨床実習のカリキュラムの改革に関わる。			0.20	国際認証に対応した臨床実習のカリキュラム改革と実習の充実化を図った。カリキュラム委員会と医学教育企画室会議への参加、教務委員会に陪席し、臨床実習プログラムの立案と実施に関わった。臨床実習履修簿作成のサポートを行った。大学入試センター試験の救護班業務を担当した。		
診療	0.10	多忙な学内及び学外医師の診療業務を支援する。			0.10	学内の医師が多忙な場合、代診業務を行い、診療をサポートした。腎臓専門医として、地域病院において腎不全患者の診断、治療、教育を行い、地域医療に従事した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			